

[383]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 383

<https://hdl.handle.net/2324/4785619>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 383, pp. 1-12, 1988-11-22. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学 大型計算機センターニュース

No. 383

1988. 11. 22

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
広報教育室(TEL092-641-1101)
内線 2505

目 次

- | | |
|--|---|
| 1. FORTRAN77の機能追加について | 1 |
| 2. カタログド・プロシジャ 'VPFORT' のSTEPパラメータ追加
について | 2 |
| 3. 会話型図形処理システムGRAPHMANのレベルアップについて..... | 3 |
| 4. TeX(文書整形出力システム) Version 2の公開について | 4 |

1. FORTRAN77の機能追加について

11月21日(月)から、標記ソフトウェアの一部が機能アップされています。追加された機能は、以下のとおりです。

(1) 端末への日本語メッセージ出力機能

次のメッセージについては、日本語で出力することができます。

- | | | | |
|--------|-----------------|----------------|----------------|
| 1) 翻訳時 | JZK005 ~ JZK831 | 及び | JZK918, JZK919 |
| 2) 実行時 | JZL131 ~ JZL301 | (ただしJZL240は除く) | |

なお、VPオプションを指定した場合は、この機能は無効です。

使用例

1) TSSの場合

READY

PROF TL(J) 端末メッセージを日本語で出力するよう宣言する

READY

FORT77 テーセット名

...

2) バッチの場合

//A79999A1 JOB CLASS=A, SPARM='LANG=J'

// EXEC FORT77, STEP=CG

```
//PORT.SYSIN DD DSN=A79999A.TEST.FORT77,DISP=SHR
//LOADGO.SYSIN DD DSN=A79999A.TEST.DATA,DISP=SHR
//
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77 使用手引書 V10用
(78SP-5300-4), 富士通㈱
(ライブラリ室 電話 (内) 2 5 0 8)

2. カタログド・プロシジャ 'VPFORT' のSTEPパラメータ追加について

11月21日(月)から, FORT77/VPの翻訳時オプションに 'GO' オプションが追加されました. これにより, 2ステップ (STEP=CG 時) 又は3ステップ (STEP=CLG 時) で行っていた翻訳から実行までの処理を, 1ステップ (STEP=CGO時) で行えるようになりました. なお, STEP指定省略時の値は, 従来通り CG となります.

使用例

- 1) STEP指定省略時 (従来 of 使用法)

```
//A79999A1 JOB CLASS=A
// EXEC VPFORT
//PORT.SYSIN DD DSN=A79999A.TEST.FORT77,DISP=SHR
//LOADGO.SYSIN DD DSN=A79999A.FORT77.DATA,DISP=SHR
//
```

- 2) STEP指定時 (CGO …… 今回追加分)

```
//A79999A2 JOB CLASS=A
// EXEC VPFORT,STEP=CGO
//SYSIN DD DSN=A79999A.TEST.FORT77,DISP=SHR
//SYSGO DD DSN=A79999A.FORT77.DATA,DISP=SHR
//
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77 使用手引書 V10用
(78SP-5300-4), 富士通㈱
2. 計算機マニュアル FACOM OSIV/F4 MSP FORTRAN77/VP 使用手引書 V10用
(78SP-5680-3), 富士通㈱
(ライブラリ室 電話 (内) 2 5 0 8)

3. 会話型図形処理システムGRAPHMANのレベルアップについて

11月14日より、標記プログラムをレベルアップしています。これに伴い、以下のような機能追加があります。詳細については、参考文献[1]を参照してください。

① ドライバ A4 OPR, B4 OPRの追加。

これに伴い、SCOPYとGRA OPRコマンドによる出力方法ではなく、メニューを選択することによりOPR出力が可能となりました。

使用例（下線は利用者入力部分）

A4 OPRに出力する場合

```
READY
ALLOC F(FT70F001) DA(GRAPH.DATA) NE CA SP(30 10) T      ..... 出力用順データセット
READY
GRAPHMAN
      GRAPHMAN          V01L40      88-11-14
--- FOLLOWING DEVICES ARE SUPPORTED NOW. ---
  1  NON GRAPHIC DISPLAY ( CHARACTER DISPLAY )
  2  F9431, F9432, F9433, F9434
  3  T4006
  4  T4010, T4012, T4013
  5  T4014, T4015, T4016
  6  NLP (F6715D, ETC)
  7  XY-PLOTTER (F6201D, F6202B)
  8  F9430 & SCOPY (F9436PL2)
  9  NLP (A4 SIZE)
 10  F6242
 11  F6653, F6658, F6683 (BGD, WDS, VDS)
 12  A4 SIZE OPR (F6657, F6667, F6677)
 13  B4 SIZE OPR (F6657, F6667, F6677)
PLEASE SELECT DEVICE NUMBER ---> 12      ..... 12を選択する
PLEASE WAIT A MINUTE. INITIALIZATION IS PROCEEDING NOW
> PDB 'LIB SAMPLE GRAPHMAN'
> USE CONT2N
> DISPLAY BIRD
> ENDG
READY
DSPRINT GRAPH.DATA プリントID DOC
```

② BCOPYユーティリティのA4 OPR, B4 OPR追加。

（これに伴い、GOUTコマンドの変更があります。）

1) 入力形式

GOUT データセット名

(SY ({出力クラス O}) PID (プリンタID) [SIZE ({A4 B4})])

2) 機能

会話型図形処理システムGRAPHMANでBCOPYデータセットに出力した図形をNLP, XYプロッタ, OPRに出力する。

3) オペランドの説明

データセット名 : BCOPYコマンドで画面からコピーした図形の入っているBCOPYデータセット名を指定する。

SY (出力クラス) : 出力クラスを指定する。指定できるクラスは次のとおり。省略値はSY (O)。

A : P L / I 6 0 字 セ ッ ト 出 力 用 N L P
 O : 日 本 語 出 力 用 N L P
 S : 英 小 文 字 出 力 用 N L P
 K : カ ナ 文 字 出 力 用 N L P
 U : オ ー プ ン 利 用 N L P
 Q : X Y プ ロ ッ ト

P I D : O P R の プ リ ン タ I D を 指 定 す る . こ の オ ペ ラ ン ド を 指 定 し た と
 き の み O P R に 出 力 さ れ る .

S I Z E : O P R 出 力 時 の サ イ ズ を 指 定 す る . 省 略 時 は A 4 .

4) 使用例 (下線は利用者入力部分)

B C O P Y で B 4 O P R に 出 力 す る 場 合 .

```
READY
ALLOC DA(BCOPY, DATA) NE CA SP(30 30) T      ..... Batch-Copyデータセット
READY
GRAPHMAN
```

メニュー出力

```

      11を選択する.
> PDB 'LIB SAMPLE GRAPHMAN'
> USE CONT2N
> DISPLAY BIRD      ..... 図形を表示する
> DBCOPY BCOPY, DATA      ..... 先にALLOCATEしたデータセット名を指定
> BCOPY *
```

十字カーソルが現れるので、図形の切り取り部分を、カーソル移動キーで左下、右上の順に指定する。

```
> ENDG
READY
GOUT BCOPY, DATA PID(XXXX) SIZE(B4)
```

参考文献

1. 計算機マニュアル FACOM OS/IV F4 MSP GRAPHMAN 説明書 (会話型図形処理システム)
 (78AR-5170-3), 富士通 (株) .

(ライブラリ室 電 (内) 2 5 0 8)

4. TeX (文書整形出力システム) Version 2 の公開について

12月5日 (月) からMSP上で標記システムを公開します。TeXはスタンフォード大学のD. E. Knuthによって開発された文書清書システムです。見た目の美しい文書作成に主眼を置いて設計されていますので、質の高い出力結果を得ることができます。出力装置としては、NLP及びOPRが使用可能です。出力結果をディスプレイ上に表示 (PREVIEW機能) する場合はグラフィック機能付端末 (F6683, F6242, F6653, F6658等) を使用してください。

Version1 (V1) は既にMSP上で動作していますが、V1で作成されたテキストファイル中で '\font' を使用しているものについては、フォント名の書換えが必要です (例 amr ⇔ cmr)。また、TeXの利用に際しては、ASCIIコード系端末を使用するのが最適ですが、'\ が表示できないパソコン端末やEBCDICコード系端末を使用する時は、以下の表に従って代替記号を使用してください。

ASCII	[	!	]	\$	^		~	\
JIS7単位符号 (PC9801等)	[	!	]	\$	^		~	¥
EBCDIC	£		!	¥	¬		~	\$

以下にコマンドの使用方法及び使用例を示します。

1) 記述形式 (下線はデフォルト値, 小文字は省略可能部分)

コマンド	オペランド
TEX	<pre> { From (データセット名) } { Step ({ A B C D E F }) } { A4 B4 } { Device (出力装置名) } { Printname (出力先) } { Page (開始頁最大枚数) } { Magnification (n) } { Zoom NOZoom } { Cut (0 1 2) } { Dvifile (データセット名) } { Outfile (データセット名) } { Tss Job ({ (*JCLのデータセット名) }) } { Portrate Landscape } { Copy (複写枚数) } </pre>

2) オペランドの説明

FROM
TeXテキストのデータセット名を指定する。省略した場合, 端末に問い合せてくるので &PLAIN データセット名を入力する。

STEP
起動するSTEPのタイプを指定する。
A: INITEXのみを起動。
B: DVIPWRITEのみを起動。
C: PRINTOUTのみを起動。
D: INITEX+DVIPWRITEを起動。
E: DVIPWRITE+PRINTOUTを起動。
F: 全ての処理を行う。

A4 | B4
出力用紙のサイズを指定する。

DEVICE
出力装置名を指定する。省略した場合, 端末に問い合せてくる。
NLP2: NLPに出力する。
OPR2: OPRに出力する。
VDS: VDS端末に表示する。

PRINTNAME
出力先を指定する。省略した場合, 端末に問い合せてくる。
O (クローズド出力), U (オープン出力): NLPに出力する。
OPRの装置番号: OPRに出力する。

PAGE
出力開始ページと出力ページ枚数を指定する。デフォルトは*と1000000。

MAGNIFICATION
出力の拡大率を指定する。デフォルトは1250。

ZOOM | NOZOOM
縮刷の指定。ZOOMを指定すると, 出力用紙の大きさに関係なくA4サイズの出力が得られ, NOZOOMを指定するとB4サイズの出力が得られる。

CUT
カットマークの指定 (B4指定の時有効)
0: カットマークを出力しない。
1: A4サイズのカットマークを出力する。
2: 国際A4サイズのカットマークを出力する。

DVIFILE
DVIファイルを保存する時指定する。デフォルトは@TEX。DVIで実行後削除される。

OUTFILE
出力用のデータセットを保存する時指定する。デフォルトは@TEX。OUTVECで
実行後削除される。

TSS | JOB
TSSで実行するのかバッチで処理するのかを指定する。JOB(*)を指定した場合
JOB文を端末に問い合わせる。

PORTRATE | LANDSCAPE
出力用紙の方向を指定する。(OPR出力の時のみ有効)

COPY
出力する部数を指定する。デフォルトは1。上限は255。

3) 使用例 (下線は入力部分。)

① NLPにB4サイズでクローズド出力する。

```
READY  
TEX F(テキストデータセット名) B4 DE(NLPE2) PR(0)  
This is TeX, Version 2.5 (INITEX)
```

READY

② OPRにA4サイズで出力する。

```
READY  
TEX F(テキストデータセット名)  
This is TeX, Version 2.5 (INITEX)  
.  
.  
ENTER DEVICENAME: 'OPR2' OR 'NLPE2' OR 'VDS'  
OPR2  
ENTER PRINTERNAME: NLPE2->'0' OR 'E' OPR2->PRTID  
IFXX
```

READY

③ バッチでNLPにA4サイズで出力する。

```
READY  
TEX F(テキストデータセット名) JOB(*) PR(0) DE(NLPE2)  
ENTER JOB-STATEMENT OR NULL ENTER :  
//A79999AT JOB CLASS=B  
ENTER JOB-STATEMENT OR NULL ENTER :  
.....空行を入力する。
```

READY

参考資料として、V2での出力例と使用できるフォントを添付します。

A Sample Document

This document demonstrates many functions of $\text{\TeX}$. Characters are proportionally spaced and some combinations of letters such as f and i are automatically changed into a ligature like fi.

'Opening' and "closing" quotation marks are distinguished. Hyphens (hy-phen), en-dashed (pp. 15-20), em-dashes ($\text{\TeX}$ --- An introduction) and minus signs (-) are also distinguished. Even the exotic characters including $\acute{a}$, β and π can be used.

$\text{\TeX}$ has a variety of font styles like *italic*, *slanted*, **bold extended** and **typewriter**. You can use larger, big and **huge** letters; You can also use smaller and tiny letters.

$\text{\TeX}$ is especially good at typesetting mathematical formulas: from a very simple formula $a + b$ to a quite complicated:

$$\tan 2n\theta = \frac{\sum_{r=0}^{n-1} (-1)^r \binom{2n}{2r+1} \tan^{2r+1} \theta}{\sum_{r=0}^n (-1)^r \binom{2n}{2r} \tan^{2r} \theta},$$

$\text{\TeX}$ has facilities for tabulation. Following is the final score for the 1979 National league Baseball (Eastern Division).

	W	L	Pct
Pittsburgh Pirates	98	64	.605
Montreal Expos	95	65	.594
St. Louis Cardinals	86	76	.531
Philadelphia Phillies	84	78	.519
Chicago Cubs	80	82	.494
New York Mets	63	99	.389

By combining the tabulation facility with formulas, we get a matrix

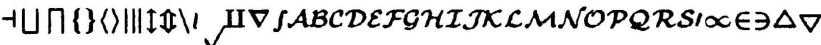
$$\text{area of triangle } ABC = \frac{1}{2} \cdot \begin{vmatrix} A_x & A_y & 1 \\ B_x & B_y & 1 \\ C_x & C_y & 1 \end{vmatrix}$$

or classification into cases

$$\int \frac{dx}{ax^2 + bx + c} = \begin{cases} \frac{1}{\sqrt{b^2 - 4ac}} \log \left| \frac{2ax + b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2ax + b + \sqrt{b^2 - 4ac}} \right| & \text{if } b^2 > 4ac, \\ \frac{2}{\sqrt{4ac - b^2}} \arctan \frac{2ax + b}{\sqrt{4ac - b^2}} & \text{if } b^2 < 4ac, \\ \frac{-2}{2ax + b} & \text{otherwise.} \end{cases}$$

$\text{\TeX}$ の出力例

TEX fonts (continued)

circlew1	
circle10	
cmbsty10	
cmbxsl10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbxti10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx5	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx6	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx7	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx8	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx9	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmbx12	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmb10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmcsc10	<i>ABCDEFGHIJKLMNPQRS ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmdunh10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmex10	
cmff10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmfib8	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmfi10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmitt10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmuib10	<i>abcdefghijklmnpqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>

(to be continued)

TEX fonts (continued)

cmminch

A B C D
0 1 2 3 4

cmmi5	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi6	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi7	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi8	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi9	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmmi12	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr5	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr6	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr7	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr8	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr9	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr12	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmr17	<i>abcde fghijklmnopqr ABCDEFGHIJKLMNOPQR 012345</i>
cmstt10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmsl8	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmsl9	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmsl10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmsl12	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssbx10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssdc10	<i>abcde fghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>

(to be continued)

TEX fonts (continued)

cmssi8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssi9	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssi10	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssi12	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmssi17	<i>abcdefghijklmnop ABCDEFGHIJKLMNOP 012345</i>

cmssqi8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
---------	---

cmssq8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
--------	---

cmss8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmss9	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmss10	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmss12	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmss17	<i>abcdefghijklmnop ABCDEFGHIJKLMNOP 012345</i>

cmsy5	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$
cmsy6	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$
cmsy7	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$
cmsy8	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$
cmsy9	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$
cmsy10	$\sqrt{\text{U P T O I H I S V}} \sqrt{\text{U V J A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S i } \infty \text{ E } \Delta \nabla}$

cmtcsc10	<i>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
----------	--

cmtex8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmtex9	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmtex10	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>

cmti7	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmti8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmti9	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmti10	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmti12	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>

cmtt8	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmtt9	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmtt10	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>
cmtt12	<i>abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345</i>

(to be continued)

TEX fonts (continued)

cmu10	abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345
-------	--

cmvtt10	abcdefghijklmnopqrs ABCDEFGHIJKLMNOPQRS 012345
---------	--

dummy	
-------	--

lasyb10	UM□◊
---------	------

lasy5	UM□◊
-------	------

lasy6	UM□◊
-------	------

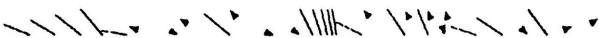
lasy7	UM□◊
-------	------

lasy8	UM□◊
-------	------

lasy9	UM□◊
-------	------

lasy10	UM□◊
--------	------

linew10	
---------	---

line10	
--------	---

logobf10	METAFONT
----------	-----------------

logosl10	<i>METAFONT</i>
----------	-----------------

logo8	METAFONT
-------	----------

logo9	METAFONT
-------	----------

logo10	METAFONT
--------	----------

mcyrg	абцдефгхијкلمнопчрс АБЦДЕФГХИЈКЛМНОПЧРС 012345
-------	--

mcyrg7	абцдефгхијкلمнопчрс АБЦДЕФГХИЈКЛМНОПЧРС 012345
--------	--

mcyrg8	абцдефгхијкلمнопчрс АБЦДЕФГХИЈКЛМНОПЧРС 012345
--------	--

mcyrg9	абцдефгхијкلمнопчрс АБЦДЕФГХИЈКЛМНОПЧРС 012345
--------	--

mcyrg10	абцдефгхијкلمнопчрс АБЦДЕФГХИЈКЛМНОПЧРС 012345
---------	--

(to be continued)

TEX fonts (continued)

meyb8	абцдефгхijklmnopчрс АБЦДЕФГХИJKLMNOПЧРС 012345
meyb9	абцдефгхijklmnopчрс АБЦДЕФГХИJKLMNOПЧРС 012345
meyb10	абцдефгхijklmnopчрс АБЦДЕФГХИJKLMNOПЧРС 012345

msxm5	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡
msxm6	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡
msxm7	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡
msxm8	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡
msxm9	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡
msxm10	~€@UпAYX\A⌒≡≈⋈⋨⋩⊙ ⊐▷▷▷★ǫ▼◀◁▲▽=VW VW ⚡⚡⚡⚡

msym5	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ
msym6	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ
msym7	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ
msym8	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ
msym9	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ
msym10	U8~J1T<>KXIII~ ABCDEFGHIJKLMNOPQRS KKKKKφφ

参考文献

1. D. E. Knuth : The TeXbook, Addison-Wesley, 1984.
2. 大野 義夫ほか : TeX入門1 ~ TeX入門12, bit, Vol. 19, No. 7~Vol. 20, No. 5.
3. 森田 洋子ほか : TeXの紹介, 九州大学大型計算機センター広報, Vol. 21, No. 3, 4, 1988, 203-226.

(ライブラリ室 電(内) 2508)